| 学校番号 | 2004 |
|---|---|

# 令和８年度　情報科

| 教科 | 情報 | 科目 | 情報デザイン | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | | | | | | | |
| 副教材等 | | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この科目は、情報デザインに関する知識と技術を身に付け、情報デザインに関する課題を発見し解決する力、情報デザインの構築に取り組む態度を養うことを目的としています。
１年次の内容を発展させて、コンピュータを使用したデザインの創造を体験し、コンピュータを活用した基本的な造形手法について演習や実習を通して体験します。
コンピュータが好きで、特にデザイン系に興味がある生徒向けの科目です。

2　学習の到達目標

(1) 適切な情報伝達やコミュニケーションの実現に必要な、情報デザインの知識と技術を身に付けるようにする。
(2) 情報産業に携わる者として、情報伝達やコミュニケーションについての課題を発見し、情報デザインの知識と技術を使って創造的に解決する力を養う。
(3) 情報デザインの構築に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技術 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 情報テクノロジーについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 | 情報デザインの手法、構成、活用に関する課題を発見し、情報産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 | 情報デザインによる効果的な情報伝達やコミュニケーションの実現を目指して自ら学び、コンテンツやユーザインタフェースのデザインなどの構築に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 前期 | 情報デザインの役割と対象 | ・社会における情報デザインの役割<br>・情報デザインの対象 | a: 社会における情報デザインの役割と対象について理解するとともに、情報デザインの考え方を身に付けている。<br>b: 社会における情報伝達やコミュニケーションについての課題を発見し、情報デザインの考え方を活用して創造的に解決できる。<br>c: 情報デザインについて自ら学び、情報デザインを情報伝達やコミュニケーションに活用することに主体的かつ協働的に取り組んでいる。 | 単元テスト<br>制作実習 | 単元まとめレポート<br>制作実習 | 授業ふりかえり |
| | 情報デザインの要素と構成 | ・情報デザインにおける表現の要素<br>・表現手法と心理に与える影響<br>・対象の観察と表現<br>・情報伝達やコミュニケーションの演出 | a: 形態や色彩の特性について理解するとともに、それらを情報デザインに活用するための技術を身に付けている。<br>b: 利用者への情報の提示や行動の誘導における課題を発見し、形態や色彩が人間の心理に与える影響を利用して創造的に解決できる。<br>c: 情報伝達やコミュニケーションの演出について自ら学び、伝達する情報に応じた演出に主体的かつ協働的に取り組んでいる。 | 単元テスト<br>制作実習 | 単元まとめレポート<br>制作実習 | 授業ふりかえり |
| 後期 | 情報デザインの構築 | ・情報の収集と検討<br>・コンセプトの立案<br>・情報の構造化と表現 | a: 情報デザインを具体化する一連の手順について理解するとともに、情報の収集、整理、構造化の方法を身に付けている。<br>b: 収集した情報から情報デザインによって解決すべき課題を発見し、目的を明確にして創造的にコンセプトを考え、情報デザインを構築できる。<br>c: 情報の収集とコンセプトの立案について自ら学び、コンセプトに基づいて情報を構造化し、表現していくことに主体的かつ協働的に取り組んでいる。 | 単元テスト<br>制作実習 | 単元まとめレポート<br>制作実習 | 授業ふりかえり |
| | 情報デザインの活用 | ・情報産業における情報デザインの役割<br>・ビジュアルデザイン<br>・インタラクティブメディアのデザイン | a: 情報産業における情報デザインの役割について理解するとともに、具体的な情報デザインを構築するための総合的な技術を身に付けている。<br>b: 地域や社会における情報伝達やコミュニケーションの具体的な課題を発見し、情報デザインについての総合的な実践力を活用して創造的に解決できる。<br>c: メディアの特性を生かした情報デザインについて自ら学び、情報デザインを用いたコミュニケーションにおける課題の解決に主体的かつ協働的に取り組んでいる。 | ｲﾍﾞﾝﾄの企画と実施 | ｲﾍﾞﾝﾄの企画と実施<br>単元まとめレポート | ｲﾍﾞﾝﾄの企画と実施<br>授業ふりかえり |

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度